

農時電送

水稲 No.③

◎移植後の水管理

5月中旬以降も悪天候が続いたため、水深を深くした水田が多く、移植後の活着は遅れています。一方、28日気象庁発表の2週間予報の平均気温は、5/30～6/1まで平年より「かなり高い」、6/2～4まで「高い」となっています（北海道日本海側）。

天候に合わせて、4つのポイントを意識したほ場管理を行いましょう。

〈今後のポイント〉

1 まずは浅水管理を！活着を促進させましよう

水深が深いとイネを低温・強風から守る反面、活着を遅らせます。今後の天候を踏まえて、浅水管理に切り替えましよう。

2 水深は1～3cmを目安に水温・地温を上昇させましよう

水温と地温を高めることが茎数の増加に繋がります。水深を浅くすること、入水は夜間～早朝、日中止水の徹底で日中水温25℃以上を確保ましよう。

3 除草剤は散布時期を逃さないように！

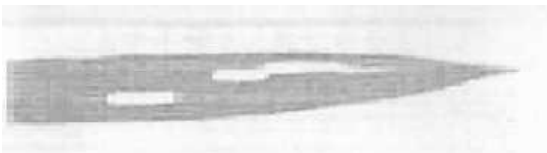
天候の回復に伴い、ヒエなど雑草の生育が進むことが予想されます。雑草の発生状況を確認し、除草剤を早めに散布するようましよう。

4 病虫害にも注意

例年、イネミギワバエ（イヒカクガバエ）の発生が見られます。浮き葉に被害が見られやすいので、なるべく浅水管理を心がけましよう。

【幼虫】

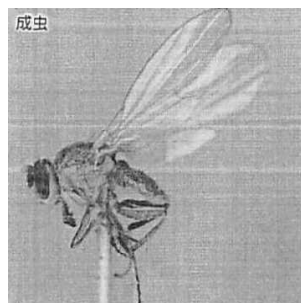
- ・体長約4mmのウジ
- ・幼虫は直線状に食い進み、被害部は袋状になる。



幼虫の食害痕

【成虫】

- ・体長：約2.5mm
- ・頭：暗灰色
- ・顔：黄色
- ・体：青灰色



イネミギワバエ

水面低くを飛行
⇒浮き葉に産卵

農作業安全・事故防止！ 農薬の安全使用の徹底！